

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

鹿児島市都心部地区

平成24年9月

鹿児島県鹿児島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 | |
|-----|---------------------------------------|------|--------|--------|----------|-----------|------------|---------------|--------|----------------|------------------------------------|---------|--|---|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | | |
| 指標1 | 宿泊観光客数 (鹿児島市内全体) | 千人/年 | 2,539 | 2,970 | 2,883 | 確定 見込み | △ | あり なし | ● ● | 3,261 | H24年8月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 鹿児島島の個性を活用し、魅力あふれるまちづくりの推進が図られたとともに、九州新幹線の全線開業との相乗効果により、宿泊観光客が増加した。 |
| 指標2 | 居住人口数 (中心市街地内) | 人 | 27,698 | 28,800 | 29,650 | 確定 見込み | ○ | あり なし | ● ● | 29,732 | H23年4月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 再開発ビル等の整備や、社会基盤の有効活用が図られたことから、安全・快適なまちづくりの推進につながり、居住人口が増加した。 |
| 指標3 | 空き店舗率(鹿児島中央駅地区及びいづろ・天文館地区の21の商店街通り会等) | % | 6.0 | 5.7 | 7.7 | 確定 見込み | △ | あり なし | ● ● | 9.0 | H24年3月 | △ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 目標値は達成できなかったが、継続して商店街の魅力づくりに取組んだことから、近年の傾向よりは改善している。 |
| 指標4 | | | | | | 確定 見込み | | あり なし | | | H 年 月 | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |
| 指標5 | | | | | | 確定 見込み | | あり なし | | | H 年 月 | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 | |
|-----------|-----------------------|-----|---------|------|----------|-----------|------------|---------------|------|----------------|------------------------------------|---------|--|--|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | | |
| その他の数値指標1 | 歩行者通行量 (いづろ・天文館地区) | 人 | 125,531 | / | 128,635 | 確定 見込み | / | / | / | / | / | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 来街しやすい環境整備を行うとともに、商店街等による特色ある事業が進められたことから、街の魅力が高まり、にぎわいの創出が図られた。 |
| その他の数値指標2 | | | | / | / | 確定 見込み | / | / | / | / | H 年 月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |
| その他の数値指標3 | | | | / | / | 確定 見込み | / | / | / | / | H 年 月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

| 事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項) | | 実施した具体的な内容 | 実施した結果 | 今後の課題 その他特記事項 |
|---|--|---|---|--|
| ・成果を持続させるために 行う方策 | 甲突川沿いの一体的な整備などにより新たな観光拠点を創出するとともに、かごしま水族館や維新ふるさと館など、既存の観光施設の整備を進め、魅力の向上が図られた。 また、本市固有の交通観光資源である桜島フェリー及び市営電車についても整備を行い、利便性や快適性などが向上した。 | 整備した施設の有効活用を図るとともに、引き続き、交通観光資源である桜島フェリーや市営電車の利便性、快適性の向上を図るため、第2期都市再生整備計画を作成し、桜島フェリー施設等整備事業などを開始した。 | 九州新幹線の全線開業効果を活用しながら、整備した施設の有効活用を図り、本市の魅力 を効果的に発信したことで、宿泊観光客の増加に寄与したものと考えられる。 | 継続して整備した施設の有効活用を図るとともに、第2期都市再生整備計画事業の推進を図る。 |
| | 街なか空き店舗活用事業や商店街ファンタスティックイルミネーション事業などにより、商店街が特色ある事業を進めることができた。 | 第2期都市再生整備計画を作成し、継続して街なか空き店舗活用事業に取り組むとともに、魅力ある商店街づくりを進めるため、既存の商店街等への支援制度に加えて新たな支援制度(地域繁盛店づくり支援事業等)を創設した。 | 魅力ある商店街づくりに取り組んでいることから、街なかのにぎわい創出が図られている。 | 商店街の魅力づくりのための各種支援制度を継続して実施する。 |
| | 道路の表層面のみを改修する舗装新設・歩道整備事業や、市営電車軌道のレールはそのまま、緑化を行った軌道敷緑化整備事業など、既存の社会基盤を活用し、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めることができた。 | 第2期都市再生整備計画を作成し、平成23年度より舗装新設歩道整備事業、ブルースカイ計画事業などを開始した。 | 安心・快適なまちづくりの推進により、居住人口数が継続的に増加している。 | 継続して第2期都市再生整備計画事業の推進を図る。 |
| | 行政と民間が連携したイルミネーション関連事業や、鹿児島中央駅東口地区、鹿児島駅地区などでの活発なワークショップの開催など、行政と民間が一体となってまちづくりを進めることができた。 | 商店街や通里会、民間事業者等が取組むイベント開催等の事業に対して、継続的に支援を行うとともに、第2期都市再生整備計画を作成し、官民連携事業である中央駅周辺一体的まちづくり推進事業などを開始した。 | 行政と民間が一体となったまちづくりを進めていることで、民間によるまちづくりの機運の醸成が図られ、継続的な活動に繋がっている。 | 継続して官民一体となったまちづくりに取り組むとともに、民間主体による積極的な取り組みを促進する。 |
| 改善策 | 空き店舗対策 | 第2期都市再生整備計画を作成し、継続して街なか空き店舗活用事業に取り組むとともに、魅力ある商店街づくりを進めるため、既存の商店街等への支援制度に加えて新たな支援制度(地域繁盛店づくり支援事業等)を創設した。 | 魅力ある商店街づくりに取り組んでいることにより、空き店舗率は、近年の傾向より改善が図られている。 | 商店街の魅力づくりのための各種支援制度を継続的に実施する。 |
| ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 | 地区ごとのまちづくりの目標 | 市民を対象とした「まち再生ワークショップ」を開催する中で、各地区のまちづくり目標を設定し、市民の意見を反映した第2期都市再生整備計画を作成した。 | 各地区の状況に応じた事業の展開(鹿児島中央駅周辺一体的まちづくり推進事業、いづろ・天文館地区回遊空間づくり推進事業など)により、きめこまやかなまちづくりの推進に繋がっている。 | 各地区の課題を的確に把握し、必要に応じて第2期都市再生整備計画の変更を行い、事業の推進を図る。 |

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

| 追加が考えられる今後のまちづくり方策 | 具体的内容 | 実施時期 | 実施にあたっての課題 その他特記事項 |
|--------------------|-------|------|--------------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |